

今月の
テーマ

金融リテラシー “預貯金の目標・目的を設定する”

近年、積立をしている人がひと頃より少なくなっているような気がするなあ…。“将来の目標・目的に向かって貯める”という意識そのものが希薄になっているような気がしてならないのは、私の思い込みだろうか…。

先月号で習慣化の必要性を説いたが「言うは易し行うは難し」、そうか分かつたとばかりに習慣化はできない。「ローマは一日にしてならず」だ。ある意味、習慣とは恐ろしいもので、良くも悪くも長期間続いた中で染みついたものは、おいそれとは変えられない。この習慣化を育むには、まだ染みつきの無い、物心の付いた頃から始めるのが最良だ。

「子どものくらしとお金に関する調査」(第3回) 2015年度調査項目の「お金に関する意識」をみると、「お金をたくさん貯めたい」(7~9割)、「お金よりも大事なことがある」(7~8割)、「お金はコツコツ働いて貯めるもの」(中学生・高校生の7~8割)と思う割合が高い。その一方で、「定期的に貯蓄をする」のは中学

生・高校生の2~3割で、「おこづかい帳」をつけていない子どもは7~8割に上る。つけている方が定期的に貯蓄する傾向にあり、自分の貯蓄が「ある」のは4~5割(小学生低学年を除く)となっており、家庭内及び学校における金銭教育の効果は充分とは言えないのが現状だ。

家庭内での金銭教育では、身近な目標を立てた上で“家族全体の目標”、“家族それぞれの計画に基づく目標”を設定し、親子共々にコツコツと貯めるという習慣をつくりたいものだ。

何事もそうだが、一定の結果を残し実績を積み重ねるには計画・目標が必要だ。

私は、ダイエット目標の達成と、健康管理のために体組成計を注文した。

形から入るタイプか…!?



生活 知恵袋

Vol.144

生活中に
何かと役立つ
連載コラム



齋藤 廣勝

(さいとう ひろかつ)

株式会社
トータルライフサポート代表取締役

- ・CFP®サーティファイドファインシャルプランナー
- ・1級ファインシャルプランニング技能士
- ・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
- ・住宅ローンアドバイザー
- ・金融広報アドバイザー

目標・目的の設定

お金だけの問題ではなく、何かを達成するためには明確な目標・目的が必要だ。漠然とした取り組みでは、そこに到達するスピードもパワーも上がらない。それからいか、いつの間にかトーンダウンし、消滅してしまいかねない。誰かさんのダイエットみたいにね…。何といっても、貯蓄成功の秘訣は目標設定にあり!“なのである。目標・目的を持たずにいると”ぼーっと生きてんじゃねーよ”と、どこかの番組の女の子に叱られそうだ。

では、叱らないためにも具体的に何を目標にしたら良いのだろうか…。もちろん、年齢や家族構成などで違いはあるものの、目標とすべきものは結構身近にあるもので、それを探すのは容易はずだ。大きなテーマである「マイホーム購入資金」、「子どもの教育資金」、「老後の生活資金」は、「人生の3大資金」として、かなりのまとまった金額が必要であり、少しでも早く計画を立て、貯蓄をスタートさせることが必要だ。

例えば、「子どもの教育資金が目的であれば」「子ども保険（学資保険）」、「マイホーム購入が目的であれば」「住宅財形貯蓄」、老後資金が目的であれば「i-deco（個人型確定拠出年金）」などと、それぞれの目的に合った貯蓄方法・金融商品を見つけるのが成功のコツだ。

保険と暮らしの相談センター

ご加入中の火災保険は大丈夫!?

近年、局地的な豪雨や落雷、竜巻、異常な大雪などにより家屋や家財の損害が増えています。現在ご加入中の火災保険でしっかりと対応できますか?ぜひ補償内容をチェックしてみましょう!!

お気軽にご相談ください。

株式会社
トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

● 営業時間／9:30~18:00

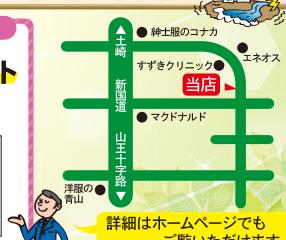
(土・日・祝日は9:30~17:00)

● 定休日／水曜日

TEL 018-827-7611

FAX 018-827-7610

URL <http://tis-akita.co.jp>



詳細はホームページでも
ご覧いただけます。

「人生の3大資金」に関しては、

れ位にして、「ここではもとと身近なテーマを取り上げ、「貯める」という習慣化に向けた目的・目標設定を考えてみよう。

身近な目標設定

貯蓄目的の中で最も身近で現実的なものは生活費そのものだろう。その他、マイカー購入、耐久消費財購入（家具・電化製品）、旅行、趣味・嗜好、投資・運用、結婚資金などなど、どれもが大切なものだ。

これの中でも、秋田で暮らしていく上では、「マイカー購入」の優先順位はそれなりに高いものがある。通勤手段の足としての必要性であったり、日常・レジャー利用においても秋田での生活には欠かせないものとなっているし、家計全体における負担割合も少なくない。「残クレ」の利用者が急増する中につき、一見手軽な残クレの利用が身の丈以上の高額な車の購入に繋がっているようにも思える今日この頃だ。延々と続く「残クレ」スパイラルに陥つてしまわぬためにも、次の買替予定に向けた積み立てを始めたいものだ。

その他、明確には見えないものの、病気や介護、災害に対する備えというものもある。これらは、保険に加入し保障を確保するという方法もあるが、どの方法が良いのか、それぞれの経済状況で判断

しよう。

貯蓄 자체が目的に在らず、人生の中長期の夢や目標設定をすることが、貯蓄を成功させる秘訣であり、習慣化のエネルギーとなるものだ。預金通帳の増え続ける金額を見ながら「二ンマリとする満足感と、目標に近づく達成感を感じるようになつたらしめたものである。あれっ……これって、ちょっと陰湿かな!?

でも、誰も不幸にしないし、自己満足であつても心にもゆとりが生まれる。貯まっている満足感は物欲にも勝り、衝動買いや無駄遣いの防止にもつながることになるから不思議だ。

目標金額の設定

目標・目的を実現させるためには、漠然と貯めるよりも、「いつまでに」「何の目的で」、そして「いく必要なかを考へ、使う時期に合わせた計画的な取組が大切なのである。例えば

①5年後にマイホーム（2500万円）を購入するため、頭金500万円（20%）を貯める。

②7年後にマイカーを買い替えるために300万円を貯める。

③3年後に家族旅行（TDL）に行き費用として25万円を貯める。

こつした目的を逆算的に考えれば①は月額8万3300円、②は3万5700円、③は6900円となり、合計は月額12万5900円の積立が必要といつ計算になる。

お金は自由だ…!

先日も「お金は寂しがり屋で友達（お金）の多いところに集まるもの」と紹介したが、そのお友達の行動を考えてみよう。

目的に向かつて「ソシソシ」と貯めていく貯蓄、そうして集まつた沢山の友達には、いつでもどこで稼げるという自由がある。しかしお給料をいたいた後、借金の返済というお金は、同じ友達でも外に向かつて出ていくだけであり、自由はない。前者の友達は集合し増えていく一方で、後者は離散し拘束されてしまう。出来れば、自由のほうがいいなあ。

定額・定率貯蓄

目的に合わせた貯蓄額決定は分かりやすいと言えるが、それがはつきりしていない場合、貯蓄額はどう決めたら良いのだろうか？

具現化された目的だけの貯蓄だけしていれば良いかというと、そこではない。習慣化という意味では、毎月定額〇〇万円とか、給料の20%は貯蓄に回すという収入の割合での目標設定もある。ただ使つてしまつタイプの方には、

そんなの無理だよといつ声も聞こえてきそつだが、出来なければ目的を断念するか、または延期するか、はたまた何の準備もせずに借金に依存するか？

“さあ、貴方はどれを選びますか…？”

負債の現状

貯蓄の一方で、負債の現状を見てみよう。借入の目的を金融広報中央委員会による「家計の金融行動に関する世論調査」「二人以上世帯調査」（令和元年調査結果）※3

つまで複数回答）で見ると、「住宅の取得または増改築などの資金」の取得または増改築などの資金も行けるという自由がある。しかしながら、「耐久消費財（※）の購入資金」が67・1%とトップで、次に多いのが「耐久消費財（※）の購入資金」で24・3%。そして「子どもの教育・結婚資金の11・0%と続く。

「住宅の取得資金」の借入はつなぎの話だが、「耐久消費財」の負債がそれなりに多いということに注意したい。耐久消費財の買替のサイクルはある程度想定できるだけに、積立貯蓄などによる準備を始めたものだ。

※消費財の中で、長期間に渡つて使用される自動車や家具、家電製品など、比較的に高価なものなどを耐久消費財という。

来月号は

次回は、投資性の金融商品について考えよう。